

主な意見、要望等	市長、担当部署の回答、対応状況等	最新の進捗状況等
AEDの新規購入の助成の検討を。	補助制度を設けている自治体があることは把握している。	他自治体において同様の補助制度が設けられていることは把握していますが、現在のところ本市における導入検討には至っていません。
消防団の活動範囲拡張された。人員増加を。	5月下旬に消防団長が市長に団員の増員について、嘆願書を提出されてから庁内関係課と協議したが、増員に関しては厳しいとの結論に至った。	消防団員の高齢化に伴い、現在は入団及び退団の均衡による人員確保に留まっており、増員には至っていません。
AED設置場所を示す冊子を作成して欲しい。	AED情報は最新のものが重要となる。冊子やハザードマップ等の印刷物であれば最新の情報が反映されず、経過と共に信頼性の低い情報となるため、消防本部では、救急課のホームページに最新のAEDの位置をプロットした「AEDマップ」を公表している。	
東葛消防署跡地を消防団の活動基地にできないか。	令和7年4月1日に運用を開始しているゆめみヶ丘防災センターに新たに消防団の活動拠点施設を建設していることから、旧東葛城出張所を消防団の前進基地として使用する必要性は低いと考え、今後は解体後に売却予定。	旧東葛城出張所の解体工事は完了しており、既定の方針に変更はありません。